

2008年3月24日

物理学会領域2運営会議@近畿大学

出席者：約40名

1. シンポジウム提案

- ・ 前回の選考で落ちた提案2つ（名大 大澤氏：衝撃波，東大 門氏・東工大 赤塚氏：光を用いたプラズマ診断）が再説明された。これら提案に対して幾つか意見が出された。主なものは以下の通り。
- ・ 光による診断を波長で区切るのはよくない。全体を出す必要がある。
- ・ 衝撃波は流体力学とも関係があるので合同セッション等を考えることができるだろう。
- ・ 上記の提案以外に quantum plasma など、構成員が十分に知識を蓄えていない内容に関するシンポジウムを企画してもよいだろう。

2. 代表からの連絡事項

- ・ ICPP2008 のアブストラクト締め切りが4月25日であり、積極的な参加の呼びかけが行われた。
- ・ 領域2の初の試みである懇親会（25日夜開催）について説明があり、これに対する参加の呼びかけがなされた。

3. 今後の活動展開（自由討論）

- ・ 代表を中心として領域2を活性化させていくための今後の活動について出席者と意見交換がなされた。主なものは以下の通り。
- ・ 色々と工夫しながら新しい企画を打っていくことが必要だろう。
- ・ この領域会議への参加者が増えてきており、良い方向に向かっていると思われる。
- ・ プログラムは改善されてきている。
- ・ シンポジウムの数を増やす方策を考えてほしい。
- ・ 改革という観点では間違いなく進んでいる。新しい課題を持って進めていく。

以上
比村治彦，澤田圭司

備考

音声ファイル有り。ファイル名「領域会議 Mar24_2008」